

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年4月18日（月） NO2 文責 木下 文秋

有事の今

有事とは、「戦争や武力衝突、自然災害など国家レベルで起きる非常事態」のことを意味します。ロシアとウクライナの問題や東日本大震災などはまさに有事ということになります。本校も13日から3日間臨時休業となりました。何とか学校を再開することはできましたが、油断することはできません。そもそも学校とは、学業にいそしむこと以外に、色々な人との関りを通して、喜怒哀楽を味わったり、ルールやマナーを身につけることで辛抱することの大切さを学習したりする場です。学校が閉鎖されることでそういった学びができなくなることはとても残念なことです。何をすることも制限を受けますが、歩みを止める訳にはいきません。有事の今私たちが心がけるべきことは何でしょうか。それはまず、無責任な言動は慎むことだと思います。根拠のない噂話を楽しんだり、誰かを誹謗中傷（根拠のない悪口を言いふらして他人を傷つける行為）するようなことがあってはなりません。そういう行為は学校そのものの質を落とすことにつながります。マスク着用の義務、確かな検温の実施、体調不良は登校しないなど、ご協力をお願いします。

明るく元気にそして前向きに

桜満開の中、それぞれの学年に進級しました。夢と希望をもってスタートしたばかりです。コロナに対する感染対策はしっかりとしないといけませんが、すべきことはきちんと進めていきたいと考えています。まずは「明るく元気にそして前向きに」生活することが大切だと思います。

「念ずれば花開く」という言葉があります。この言葉は熊本県の詩人坂本真氏（さかもとしんみん）という人の詩の一説に出てくるものです。念ずれば花開くとは、ただ念じてお願いしていれば夢や希望が叶うという意味ではありません。「念」という漢字は「今」と「心」という漢字で構成されています。これは「今」の思いや願いを自分の「心」に乗せ目の前にあることを一生懸命取り組むことの大切さを意味しています。念ずれば花開くという言葉の裏には、「今を大切に生きないと花（夢）は開かない」という教えがあるようです。スポーツの世界では、「努力した者が成功するとは限らないが、成功した者はみんな努力している」という言葉もあります。まだ始まったばかりです。生徒の皆さん、明るく元気にそして前向きに学校生活を送りましょう。